



第1会場●2F 第4研修室

■司 会／眞鍋 幸一 (愛媛県)年輪塾 塾生
佐藤 優子 熊本県生涯学習推進センター 社会教育主事

分科会の進め方

10:45~10:50

1 4つの知恵の輪!地域を越えた文化祭スタンプラリー

10:50~11:20

山本 明子(鳥取県倉吉市) 倉吉市明倫公民館 主事
佐々木 由香(鳥取県倉吉市) 倉吉市閑金公民館 主事

各公民館の担当区域をまたいだスタンプラリー構想は、倉吉市4つの地区の公民館主事研修会が生み出した連携事業である。目的は住民交流の拡大と文化活力の向上である。スタンプラリーは、カードデザイン作成や当日の運営・押印に住民を巻き込むことで地区内の協力体制を活性化し、他地区的事業を見学することに「景品」を準備して参加の呼び水とした。「スタンプラリー」も「景品」も、他地区訪問の契機となり、結果的に、個別文化祭の参加者が増加し、受け入れ側にも、訪問側にも、「刺激」と「気付き」と「やる気」を生み出した。その背景には、地区公民館どうしの日頃の連携があった。

2 伊万里をつくり 市民とともにそだつ 市民の図書館

11:25~11:55

末次 健太郎(佐賀県伊万里市) 伊万里市民図書館 係長

「美しい図書館で過ごしたい」ランキング、西日本の1位に選出された伊万里市民図書館を、「日経」は、『どんな使い方をしたいか、市民の意見を取り入れた図書館』として紹介している。1位選出の理由には、ソファーから開架スペースまで利用者の使い易さへの配慮が挙げられており、他にも400を超える座席や公開書庫、伊万里学コーナー、ボランティア向けの部屋など「滞在型図書館」としての設備が充実している。また、住民サービスの力点は、子どもの読書推進、リクエスト・リファレンスへの対応、自動車図書館による巡回、イベントの開催など多岐に渡る。「市民との協働」を掲げ、図書館友の会である「図書館フレンズいまり」との連携も密である。

3 民設民営古民家体験工房「とらいかん」での体験、交流、学習プログラム

12:00~12:30

柴山 節子(長崎県佐世保市) 古民家体験工房とらいかん 代表

「とらいかん」は、築100年の自宅を改修した民設・民営の生涯学習・交流センターである。「とらい」は、「Try」であり、「渡来」でもあり、交流のトライアングルでもある。「かん」とは、感動の「感」、学べる館の「かん」、感謝の「感」でありたいという願いを込めている。すでに、体験民泊旅館業認可を得、農林新事業創出6次化認定も受けている。農家と連携し、エコツーリズムと連携し、体験、展示、販売、宿泊、情報発信などを通じて、人々が集い、出会いを演出し、自然や農業の豊かな体験の機会を提供している。定例の事業は、各種体験教室、軽食ランチ、体験民泊などを組み合わせ、異文化交流、健康寿命、活力ある地域づくりなどを目指している。